

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ルナネスト		公表日		2026年 3月 11日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		来所する生徒の学年や療育内容に応じて、教室内を幅広く使用できるよう工夫しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		状況に応じて指導員の配置を工夫し、支援プログラムが効果的に届くように相談をしています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		教室のルールを確認しやすいよう、口頭のみならず掲示物を用いて、視覚的に情報を得られるようにしています。	お子さんのニーズに合わせて、必要に応じて整備していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		来所した生徒の状況に可能な限り対応出来るよう、トレーニングルーム、面談室を希望に応じて使い分けています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		面談室や、カーテンによる仕切りを使用し、一人で過ごせる環境を作っています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		全職員が参加できる日程を調整し、業務改善の会議を行っています。毎週金曜日の定例会議で改善箇所の意見交換や、より良い案を模索しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様からのアンケートを年に一度実施し、集計結果の共有を職員間で実施しています。貴重なご意見を業務改善へと繋げ、より良い支援が効果的に実施できるよう改善を行っています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日の振り返りや、休憩時間に相談を持ち掛けやすい状況を設定しています。定例会議で業務改善について意見交換を行う機会を設けています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		外部評価を現在は実施していませんが、外部の福祉事業所や医療機関とのネットワークが年々増加しています。年に数回外部研修の期間を設ける事を検討します。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月一で行っている社内研修の他、外部での研修へ定期的に参加しています。研修の開催日時に応じて、業務内で受講できるよう配慮をしています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		生徒のニーズに合わせて年度末に次年度の支援プログラム案と共に、目的や効果について話し合っています。今年度のプログラムの改善箇所についても話し合ったうえで策定し、HP上に公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者のニーズのみならず、生徒の抱えているニーズの分析をしつつ最適な支援計画案を練っています。前回の目標の到達度合や、その到達度合となった理由も熟考して策定しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		何故その支援が必要となるのかといった理由も含めて、生徒の現在と未来を見据えた支援計画を策定しています。職員間で支援に一貫性が生じるよう、支援の方向性についても共有しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		毎朝のミーティングにて、来所予定の生徒に関する支援目標や、最近の気づきなどを共有し、効果的に支援できるようにしています。		

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		標準化されたアセスメントツールの利用は今のところ行っていません。今後のアセスメントに必要なツールを検討していきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		○	ガイドラインを確認しながら、支援計画の吟味と作成を行っています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○	年度末に来所している生徒の状況や、新規利用者のニーズを基に、月毎のプログラムを策定しています。生徒の成長を第一に考え、昨年度のプログラムの改善箇所を多角的視点から分析し、改善を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		○	療育目的に合わせて、多様な角度からアプローチが出来る様に職員間で話し合ってプログラムを作成しています。	生徒主体となって、何をするのか話し合っている場面も設定しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。		○	療育プログラムの中で個別活動と、集団活動の双方が必要となる状況を意図的に設定しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○	朝の振り返り会議等で、療育目標や方法について意見を出し合い、柔軟な支援が実施できる役割分担を決めています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	翌朝の振り返り会議にて、昨日の振り返りを行っています。一人ひとりの生徒への職員全員の意見や気づきが共有でき、支援計画に基づく支援以外の事柄についても多様な視点からの見解が述べられています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。		○	療育後の記録と共に、振り返り会議にて支援内容の改善案を出し合っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。		○	半年に一度実施するモニタリングや、随時受け付けている電話相談・面談にて保護者や相談支援専門員のご意見を踏まえて、ニーズに沿った支援計画を作成しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。		○	4つの基本活動を満たした総合的な支援を行うために、年に1度月ごとのプログラムのテーマを検討・改善を行っています。	
関係機関や保	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。		○	自己設定が出来る様に生徒自身が思考し選択する状況を意図的に作成しています。状況に応じて、複数の選択肢を用意しいずれかを選択しやすくなるような支援も行っています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		○	どの職員も共通の理解度合いとなっているよう、振り返り会議などで情報共有を積極的に行うことで、誰が参画しても同様の情報共有が成されるようにしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○	定期的な協力医療機関や相談支援員さんとの連絡の中で、連携した支援が行えるように配慮をしています。	まだまだ機会が少なく、定期的な連携が取れるようシステムを構築したいと思っています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。		○	学校送迎時に、ご様子をお伺いするなど情報共有をさせていただいています。	相談員さんも交えて、対処に当たれるようにしていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		保護者の方に確認をしながら、必要に応じて情報共有を行います。機会は少ないですが、必要に応じて相談員を交えて実施しています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		ご本人や保護者の方、事業所からのご希望があった場合は、支援の振り返り記録を共有できるように、体制を整えています。

護者との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		研修の機会を模索していますが、児童発達支援センターとの連携は現在行っていません。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	地域のお子様と一緒に遊べるような公園での活動時には、状況をよく判断しスタッフが間に入りながら同じ活動に取り組むようになっています。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		○		出来る限り参加できるよう、日程調整や時間の捻出を行い、検討していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。		○	連絡帳やLINE、お電話などですぐに状況を伝え合えるような仕組みを作っています。また、希望していただいた方には対面かお電話で面談が出来るように、毎月のお知らせで周知しています。	送迎がある中で、より効率よく情報共有できる方法を考えてまいります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		現在は行っておりません。最もご要望にお応えできる形での実施を検討し、ニーズの把握を行っていきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		○	契約時に、資料を使いながら説明を行っています。また、変更などがあつた際には、資料の配布と直接のご説明を行い、ご不明点に関しては何時でもご質問していただけるようになっています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。		○	事前に保護者様と面談を行い、学校や家での様子をヒアリングしています。ニーズを把握した後に、スタッフ間で話し合いを行いお子様視点での作成を行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。		○	計画の説明と同意を得るとともに、ご不明点があつた場合いつでもご質問を受けられるように窓口を広く整えています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		○	毎月お配りしている出席予定表で、面談希望の有無を確認するとともに、日々お電話やLINEなどでも面談の希望を受け付けるように周知しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○		現在開催は出来ておりません。ご希望に合った形で行えるよう、皆様のニーズを調査しに検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があつた場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○	契約時に苦情対応窓口のご案内を行い、いつでもご連絡いただけるように体制を整えています。苦情があつた場合には、即座に対応できるように尽力していきます。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	お子様一人一人の成長を記録した「成長記録」を定期的に発行し、気づきと成長した箇所をお伝えします。HPのブログを毎日更新し、活動の内容や様子が伝わるようになっています。また、イベント情報などは公式LINEでも情報発信をし、様々な形で情報を受け取ってもらえるようになっています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○	個人情報は鍵のかかる書庫で管理を行っています。デジタルのものは社内で独立したサーバーで管理しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○	お子様に対して伝える際は、視覚的にも情報が伝わるように絵や図を用いるなど工夫を行っています。保護者の方へは、連絡帳やLINE、お電話など複数の方法をご用意し、選んでいただけるようになっています。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		修了施設や保健センター、社会福祉センター等との連携はありますが、行事等へ参加する機会を設けられるよう検討します。	
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	マニュアルを策定し、職員に周知するとともに、訓練を実施しています。訓練の内容をブログで公開し、保護者の方にも周知しています。		

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、年に2度訓練を実施しています。	生徒主体となって、何をするのか話し合っ て決める場面も設定しています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に確認を行い、必要な対応についても共有を行っています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時に確認を行い、必要な対応についても共有を行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、年に2度訓練や研修を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		緊急時の対応が滞りなく進むよう、必要に応じてご家族や親族の皆様との連絡先をお伺いしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの提出時に、必ず職員間で情報を共有し、次回以降の予防の為の対策まで話し合っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年に2度の研修にて知識が確実に定着する工夫を行っていると共に、毎月虐待チェックのアンケートを行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			契約時にどのような場面で身体拘束が必要になるのか、保護者様に確認を取り同意を得ています。